

	訂正前	訂正後
P.147 問7 選択肢5	5. Cooms 試験	5. Coombs 試験
P.148 問10 選択肢4	4. U派	4. U波
P.238 問2 選択肢2	2. TNF- α 増加がする。	2. TNF- α が <u>増加</u> する。
P.316 問2 解説 上から2行目	……クロラムフェニールはタンパク質合成を阻害する。……	……クロラムフェニ <u>コ</u> ールはタンパク質合成を阻害する。……

	訂正前	訂正後
P. 104 問 28		削除
P. 129 問 39 解説 上から 1 行目	この記述はコアセルベーションの記述である。	この記述は凝析の記述である。
P. 137 問 15 選択肢 4	4. $\frac{2(\rho - \rho_0) \cdot g \cdot d^2}{9\eta}$	4. $\frac{2(\rho - \rho_0) \cdot g \cdot d}{9\eta}$
P. 179 問 4 問題 上から 1 行目	速放性製剤の……	即放性製剤の……
P. 199 問 24 問題 上から 1 行目	……の適用はどれか。	……の適応はどれか
P. 199 問 24 解答・解説 差し替え	3 サラゾスルファピリジンは、潰瘍性大腸炎の治療薬であり、大腸に存在する細菌叢が産生する酵素を利用した、大腸ターゲティング製剤である。	2 サラゾスルファピリジンは剤形によって適応が異なる。 ・腸溶錠：関節リウマチ サラゾスルファピリジン（免疫調節作用）が小腸から吸収されて作用する。 ・錠剤・坐剤：潰瘍性大腸炎 大腸ターゲティング製剤であり、大腸の腸内細菌で代謝され、代謝物の 5-アミノサリチル酸(抗炎症作用)が作用する。

	訂正前	訂正後
P.73 問28 問題 上から1行目	心不全時には、一般に薬物の分布容積は減少する。	<u>心筋梗塞</u> では、一般に <u>塩基性薬物</u> の分布容積は減少する。
P.73 問28 解説 追加		α_1 -酸性糖タンパク質が増加するため。
P.73 問30 問題 上から1行目	重症心不全患者では、……	<u>心筋梗塞</u> 患者では、……